

## 一つ一つの建物が都市をつくる

株式会社三菱地所設計  
住環境設計部

宿 利 隆

諸先輩方にとってはまだまだフレッシュマンな私ですが、2009年に建築・都市計画論領域を修了し、株式会社三菱地所設計に勤務して、早いもので4年半が経ちます。三菱地所設計は、その名の通り、不動産会社である三菱地所より分離独立した組織設計事務所です。建築や土木の設計監理、都市開発やコンストラクションマネジメントなどのコンサル等を業務として行っています。

在学時、修士課程の研究は「都市構造の調査・分析と現代化」についてでした。都市を構成する個々の建物を切り口として、建物敷地内／外の公共空間を調査し、誰もが入っていけるパブリックスペースのネットワークにそれぞれの建物がどのように寄与しているか、どのような奥行きのある都市空間を作っているかを歴史的・幾何学的アプローチや、人々の行動を分析することにより考察しました。当たり前ですが、目の前にある街は、一つ一つの建築物が集まった姿であり、それらがその都市の特徴や魅力を作り上げているということを、研究を通じて学ぶことができました。

入社後は、オフィスビルなどのプロジェクトに携わらせていただき、現在では住環境設計部という共同住宅やホテル、医療福祉施設の設計監理を行っている部署に所属し、意匠設計を担当しています。共同住宅といっても分譲や賃貸マンションだけでなく、サービスアパートメントやシェアハウスなど人々の住み方も多様化していますし、実際生活する上でのきめ細やかな視点やスケール感が求められる分野でもあります。

実務の設計と学生時代の設計演習と大きく違うのは、主に事業者と施工者という存在であり、法規とコストの制約と言えます。学生時代がいかにも自由に設計できていたかを感じつつ、また、自由だったからこそ考えることのできたことの大切さを噛みしめながら、日々設計の仕事をしています。在学時も同じ建築界に

いたことから、建築設計のことは多少なりとも分かっていたつもりでしたが、仕事となると初めて直面することの多さに、常に驚かされていますし、初めてやることこそしっかりと、そして面白くやる力が必要であると感じています。

今年の夏、私が主体的に設計を行った賃貸マンションのプロジェクトが社内外の多くの人のサポートを受けて竣工を迎えました。このプロジェクトを通じて企画から設計、工事現場での意匠監理まで経験させていただくことができました。事業者へのプレゼンテーション、社内での構造や空調衛生設備、電気設備の設計者との調整、意匠設計図書の作成、監理者・施工者への設計意図の伝達など、一連の業務を経験することができました。多くの人が係わるこの仕事においては図面作成能力や法規理解力だけではなく、コミュニケーション能力が非常に重要であることが分かりました。また、完成した建物を眺めていると、一つの建物には事業者・設計者・施工者の想いが宿っており、街や都市はその集まりであることを改めて感じさせられました。ふと東京や大阪の街を見渡してみると、数多のオフィスビルやマンション、商業施設で埋め尽くされていることが分かります。普段は風景の一部となっているそれらの建物も、多くの人がかかわってできており、そこではまた、多くの人が生活を営んでいます。「一つ一つの建物が都市をつくる」在学時に、修士の研究で学ぶことができたものと、今社会人5年目で感じていることが不思議と重なってきているように思います。

普段の仕事は打ち合わせなどの調整業務に忙殺されることもありますが、やはり設計者である以上は、一つの建物ができることで街が少しでも魅力的になる、そんな建築の設計をしていきたいと思っています。当たり前のことかもしれませんが、それが今の抱負でもあります。

## フレッシュマン抱負を語る

一方で、同じ建築設計者ということでは、組織設計事務所の他社をはじめアトリエ設計事務所、ゼネコンやハウスメーカーの設計部員など、若手のライバルは数多くいます。これからは、一人の設計者であると同時に組織設計事務所の一員であることを活かしたデザインの方法というものを、例えば培ってきたノウハウや総合力・技術力を最大限に使って魅力的な建築にで

きるような方法を、フレッシュマンなりに模索し、精進していこうと考えております。以上で、簡単ではありますが、私の抱負とさせていただきます。

最後になりましたが、この様な寄稿の機会を頂戴いたしました、木多教授へ御礼申し上げます。

---

(建築 平成 19 年卒 地球総合 21 年前期)